

情報検索演習

第13回

法律・判例・特許・統計・地図の探し方

江草由佳

国立教育政策研究所

yuka@nier.go.jp

本日のお品書き

- お知らせ
- 試験について
- アンケート
- 第14回演習課題
- 法律・判例・特許・統計・地図の探し方
 - 法令データ提供システム
 - 日本法令索引
 - 裁判所ウェブサイト
 - 特許電子図書館
 - 総務省 統計局・政策総括官(統計基準担当)・統計研修所
 - 政府統計の総合窓口
 - 白書・年次報告書等
 - 専門分野の統計情報
 - Googleマップ(Japan)

お知らせ

- 試験
 - 1/9(水)に試験をします
 - 5回以上欠席した人は受験資格がありません
- 本日以降に提出したい未提出物について
 - 電子提出で遅れ提出可能にしておきます。
- 提出物の返却について
 - 提出物の返却があるかもしれません。
 - 授業終了時以降返却がある場合は、教務にて受け取れるようにしておきます。
 - 受け取り可能開始はWebにて告知します
 - 来年度の夏休みまでに受け取らない場合は、破棄してもよいとみなします。

試験について(1)

- 論理演算
 - 論理積
 - 論理和
 - 論理差
 - **☒**も描けるように
- トランケーション
 - 前方一致
 - 後方一致
 - 中間一致
 - 中間任意
 - ワイルドカード
 - マスク文字

※リンク集の作成方法については出しません
(レポートを出したため)

試験について(2)

- 使った情報資源の特徴を覚える
 - 主題・テーマは？
 - Webページ？本？論文？
 - どんなことがわかる？
 - 所蔵情報？全文？
- どんな検索要求のときに、どの情報資源を使えばよいか
 - 例：夏目漱石が書いた「我輩は猫である」の全文を読みたい
 - → どの情報資源を検索すると良い？

第14回演習課題

- 演習課題を実行し、講義Webサイトから、回答用紙をダウンロードし、PowerPointで作成して、9分割両面印刷して提出しなさい。
 - 課題名に: 第__回演習課題と入れなさい
 - ✕切: 来週演習開始時
- 「情報検索演習」、「第__回演習課題:法律・判例・特許・統計・地図の探し方」、「時限」「学籍番号」、「名前」、「提出日」を忘れずに記入すること

法律・判例の特徴とそのアプローチ

- 法律とは
 - 狭い意味としては：国会での議決を経て制定された法規範
- 法令とは
 - 法律および命令の総称
 - 憲法、法律、法令、政令、勅令、府令、省令、規則の総称
 - 以降、法令を検索する
- 判例とは
 - 各裁判所で下される判断（判決等）のうち、先例としての一般性をそなえ、他の事件への適用可能性があるようなもの

法令、判例を知りたい。。。。

- ○○という法律には実際にどう書いてあるか知りたい
 - 法令の全文を読みたい
- 廃止された過去の法令を知りたい
- ある法令の成立の経緯を知りたい
- 裁判の過去の判例を知りたい

法令データ提供システム

- <http://law.e-gov.go.jp/>
- 憲法、法律、政令、勅令、府令、省令、規則の内容が検索できる
- 法令名中の用語、五十音順、事項別分類、法令番号などから検索できる
- 略称法令名一覧などもある

法令データ提供システム

- p.147【例題1】図書館法第二条に書かれている内容を知りたい
 1. 法令名の用語索引のクエリボックスに「図書館法」と入力して、“検索”ボタンをクリック
 2. “図書館法”のリンクをたどる
 3. 左のフレームの“第二条”をクリック
p.148 12-3図 → PowerPointへ(1)
 4. 左のフレームの“第一条”をクリック
 5. 条文中の学校教育法“社会教育法”をクリック
→ PowerPointへ(2)このように、すぐに関連法令を参照できる

日本法令索引

- <http://hourei.ndl.go.jp/SearchSys/>
- 国立国会図書館が提供する
- 「法令索引」
 - 現行法令検索
 - 現在効力を有する法律などの検索
 - 廃止法令検索
 - 廃止、執行した法律などの検索
 - 制定法令検索
 - 制定された法令(新規制定、全部改正、一部改正、廃止など)
- 「法案索引」
 - 昭和22(1947)年に開催された第一回国会以降の法案情報
 - 法律案、条約承認案件の2種類が検索できる

日本法令索引

- p.150【例題2】電気通信に関する現行法令と廃止法令を知りたい。また、審議経過を見ることができるものは、その内容も見たい。
 - 「[横断検索](#)」をクリック
 - “1.現行法令索引...”の法令名のクエリボックスに「[電気通信](#)」と入力し、“検索実行”ボタンをクリック
 - 検索結果を確認し、“19. 電気通信回線による登記情報の提供に関する法律”の“[審議経過](#)”リンクをたどる(19ではないかもしれないことに注意)
 - “12”のリンクをたどる → [PowerPointへ\(3\)](#)
 - 審議経過の全文をよむことができる

裁判所ウェブサイト --最近の判例一覧--

- <http://www.courts.go.jp/>
- 最高裁判所事務局広報課が窓口
- 裁判所の判例集が検索できる
- 判例の検索ができ、全文を見ることが出来る
- ブラウズ例:
 1. “最近の裁判例”リンクをたどる
 2. “最高裁判所判例集”リンクをたどる
 3. “全文”をたどる
 - 判例の全文をみることが出来る
 - [→ PowerPointへ\(4\)](#)

裁判所ウェブサイト --判例検索システム--

- 検索例：交通事故と保険金について、高等裁判所の判例を知りたい
 1. “裁判例情報”リンクをたどる
 2. “高等裁判所判例集”のリンクをたどる
 3. 「交通事故」、「保険金」を全文のクエリボックスに入力する
 4. “検索”ボタンをクリックする
 5. どれか“高裁判例”リンクをたどる

— [→ PowerPointへ\(5\)](#)

 1. “全文”リンクをたどる

特許の特徴とそのアプローチ

- 特許は一定期間、排他的独占権を与えるもの
- 過去に同じような特許があるかどうか先行調査が必要
- 国ごとに特許を出願、取得しなければならない＝国ごとに特許の先行調査が必要

特許電子図書館

- <http://www.ipdl.inpit.go.jp/homepg.ipdl>
- 特許明細書が閲覧できる(無料)
- 特許検索
 - 新しいもの(平成5年以降)はキーワードなどから検索できる
 - 古いもの(明治時代から平成4年)は特許番号を知る必要がある


特許電子図書館

--古い特許・文献番号指定--

- p.159【例題3】明治24年に登録された木製人力織機の特許第1195号の特許明細書の織機の図面を見たい。
 1. “特許・実用新案検索”→“1.特許・実用新案公報DB”リンクをたどる
 2. 文献種別のボックスに「C」(特許明細)を入力
 3. 文献番号のボックスに「1195」を入力
 4. 表示形式:「項目/レイアウト表示」, 表示種別「全頁」→ p.160 12-8図 → [PowerPointへ\(6\)](#)
 5. “文献番号照会”をクリック
 6. “特明1195”リンクをクリック(特明:明治時代の特許)
 - 全文がみられる
 7. “次頁”のボタンを3回クリックして図面(4ページ)を表示₁₇
→p.161 12-9図 → [PowerPointへ\(7\)](#)

特許電子図書館

-- 新しい特許・検索 --

- p.160【例題4】中村修二氏が発明した青色発光ダイオードの出願年月日と、その概略を知りたい
- “初心者向けの検索へ” → “特許・実用新案の検索” リンクをたどる
- クエリボックスに「中村修二 青色発光ダイオード」を入力
- 検索条件: の全てが含まれる → PowerPointへ(8)
- “検索実行” ボタンをクリック
- n件ヒットしたので、“一覧表示” ボタンをクリック
- “特許公開平05-063236” リンクをクリック
 - p.162 12-11  → PowerPointへ(9)
 - 簡易表示画面がでる

統計の特徴とそのアプローチ

- 統計的なデータは統計索引を活用する
- 以下の情報資源を利用する
 - 統計年鑑
 - 年鑑
 - 白書
 - (統計を中心とした)便覧
 - ファクトデータベース

総務省 統計局・政策総括官(統計基準担当)・統計研修所

- <http://www.stat.go.jp/>
- 総務省が管理する統計を公開
- 国勢調査、人口推計、日本統計年鑑、日本の統計、世界の統計などの統計の一覧をExcelで提供
- 統計に関する情報を見たいときは最初に見るべきサイト
- p.183【検索例-3】: 日本統計年鑑の最新版が閲覧可能
 - 下部の”日本統計年鑑”リンクをクリック
 - 日本統計年鑑の表紙、統計総目次等が表示される
→ [PowerPointへ\(10\)](#)
 - 各目次をたどると、統計データがExcelで入手できる

政府統計の総合窓口

- <http://www.e-stat.go.jp/>
- 各省庁が公開している統計表を総合的に検索できる
 - “統計データを探す”の「キーワードで探す(検索オプション)」リンクをクリック
 - “キーワード入力”の”AND検索”に「インターネット 人口」を入力
 - “調査年月の指定”の”調査年の範囲を指定する。”をクリックし、両方とも「20xx年」(今年)選ぶ
 - “検索”ボタンをクリック
 - 「作成機関」をクリックすると、説明が閲覧できる→
[PowerPointへ\(11\)](#)
 - 調査名のリンクをクリックすると、実際の統計データへのリンク等がある→
[PowerPointへ\(12\)](#)

白書・年次報告書等

- 白書、年次報告書、年鑑にある統計情報がある
- 「電子政府の総合窓口」に、白書等へのリンクがある
 - http://www.e-gov.go.jp/link/white_papers.html
 - 全文や要旨へのリンクがある。
- 演習：任意の白書等の統計情報の画面を表示させる→ PowerPoint(13)（白書名、たどった方法など簡単に説明をつける）

専門分野の統計情報

- 日本図書館協会：日本の図書館統計
 - <http://www.jla.or.jp/statistics/>
- 最高裁判所：司法統計
 - <http://www.courts.go.jp/search/jtsp0010>

Googleマップ(Japan)

- <http://maps.google.co.jp/>
- 地図を検索するサイト
- 検索式に関連のある場所の地図が表示されることが特徴
- 検索例
 - クエリボックスに「博物館」と入力
 - “Enter”キーを押す
 - 博物館に関連した場所が地図上に表示される
 - → PowerPointへ(14)
- ストリートビュー(機能紹介)
 - 実際の風景が見れます。